

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	システム工学特別演習第二		
英文授業科目名	Advanced Studies of System Engineering 2		
開講年度	2006年度	開講年次	
開講学期	通年	開講コース・課程	博士後期課程
授業の方法		単位数	6
科目区分	電気通信学研究科-システム工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	システム工学専攻		
担当教官名	各指導教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>(a) 主題：</p> <p>自らが行う研究テーマおよびその関連課題を設定し、課題解決のための調査・立案・遂行・評価のプロセスを実体験し、幅広い知識の獲得と総合技術力の涵養を計る。</p> <p>(b) 達成目標：</p> <p>国内外の最新の文献を読解できることは勿論のこと、内外で開催される学・研究会に積極的に参加し討論を通して研究推進のための方法論を修得する。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
指導教員の指示に従うこと。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
指導教員の指示に従うこと。

<b>【教科書等】</b>
指導教員の指示に従うこと。

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

指導教員の指示に従う。

典型的には自らが推進する研究テーマに対して毎週定期的開催される研究会に出席して発表し、質疑応答・討論を行う。さらに、課題に関連した専門分野の討論に参加し自己の見解を簡潔に述べるとを通して研究に対する見識を涵養する。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

自らが課題としたテーマの遂行プロセスを適宜報告書で提出した状況、並びに得られた結果を発表・討論する過程において総合評価する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

指導教員の指示に従うこと。

### 【学生へのメッセージ】

先行研究の理解から自らの独創的研究へと立場を発展させるための訓練は専門的研究者になるための重要な過程です。

### 【その他】